

議会運営委員会

11月6日 山梨県中巨摩郡昭和町
7日 県立リニア見学センター

昭和町は、昭和46年に町制が施行され、昭和村から昭和町になったのち、一度も合併することなく、令和3年に町制施行50年を迎えた。面積9・08km²、人口2万1183人。甲府市に隣接することから幹線道路の整備と併せ、国母工業団地と釜無川工業団地合わせた約161haが整備され、また、12か所合計約148haに及び土地区画整理事業などの市街地整備が進み、山梨県内でも有数の人口増加率が高く、基盤整備の整った都市として発展してきた。周辺では、リニア中央新幹線山梨県駅の設置が予定され、静岡県と長野県を結ぶ中部横断道や新山梨環状道路整備も進められており、今後の広域的な交通条件の向上により、更なる発展が期待されている。

昭和町議会は「政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会」として、全国町村議会議長会表彰を受けている。研修では、その取り組み内容等について説明を受け、意見交換を行った。

- ・山梨学院大学との提携協定の締結
- ・議会基本条例の制定
- ・議会災害対策本部設置要綱の制定
- ・町民参加型政策提案学習会の開催
- ・昭和町議会業務継続計画の策定
- ・議会モニター制度の導入
- ・タブレット端末の導入

リニア中央新幹線は、東京都から大阪市に至る438kmの新幹線の整備計画路線。品川〜名古屋の区間について令和9年以降の先行開業を目指して平成26年度に着工されている。最高設計速度は時速505kmで、品川〜名古屋間を最速で40分で結ぶ予定。

(委員長 瀧塚 政明)



昭和町議場にて

議会だより 編集特別委員会

11月14日 宮城県遠田郡美里町
15日 宮城県柴田郡柴田町

美里町は、基幹産業は農業で面積の70%が米・野菜・果樹等、県下の食料基地であり、柴田町は、花のまちとして四季折々の花が楽しめる、春のさくらまつり（一目千本桜）には、25万人が訪れる観光のまちとして、宮城県の中でも、特色のある二町だった。

二町とも令和4年度町村議会広報全国コンクールにおいて奨励賞を受賞しており、今に至る改善のいきさつについて、事前に二十数項目の調査事項を提出し回答を頂いた。

①本会議の音声データの早期議事録化により、議会だより作成に即活用されている。

②議会情報を議会だより紙面だけに頼らず、HPのYouTubeを利用した動画と紙面をQRコードで結び、広報する手段を使い分けられている。

③コンテンツにおいては、広聴として議員が町民と直接懇談する議会懇談会を年に複数回開催し、住民

参加型の編集を目指している。

④委員会の編集作業では、委員全員が共通のタブレット端末を利用し、編集の効率化も図られている。

今後、議会活動の広報・広聴の重要性を再認識して、委員全員で改善に取り組む。

(委員長 新美三喜雄)



柴田町議場にて